

# 全国女性会

(旧婦人会)

いま、ガガやいて活動している女性たち  
ぐっとアップ!

2022  
4  
NO.548

編集・発行 全国女性団体連絡協議会 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-17-14  
電話 03-3407-4303(代) <http://www.chifuren.gr.jp>  
共催:全国女性会館



一般財団法人  
全国女性会館  
渋谷駅から徒歩5分  
レンタル会議室  
全国女性会館2階  
広さ90㎡ スクール形式約60名可  
お問合せとお申込み  
Tel. 03-3407-4301  
(平日午前9時~午後5時)

食品ロス削減国民運動のロゴマーク  
「ろすのん」  
NO-FOODLOSS PROJECT  
私達はこの運動を推進します!

らくらくコミュニティに  
「ぜんちふれん」  
公式アカウントオープン!  
QRコード

アースエコ  
プラスチック資源の削減、リサイクルの促進で  
CO<sup>2</sup>排出を減らし、地球環境保全に努めます。

男女がともに活躍できる社会へ



内閣府  
男女共同  
参画局

"Kyodo-sankaku"  
Number 152  
January 2022  
Japan Cabinet Office

1

# 共同参画



フランス革命の次は  
日本のジェンダー革命だ!

特集1 / スペシャルインタビュー  
池田理代子氏にお話を伺いました

特集2 / 女性に対する暴力をなくす運動  
活動報告

特集3 / 男女共同参画会議  
「計画実行・監視専門調査会」

©池田理代子プロダクション  
男女共同参画の総合情報誌 内閣府編集

こちらは内閣府男女共同参画局が発行している月間総合情報誌「共同参画」です。2022年1月号では、「ベルサイユのばら」で著名な池田理代子先生のスペシャルインタビューが掲載されています。内容が素晴らしいので、ぜひ全国の皆様に読んでもらいたいと思います、男女共同参画局

と池田先生並びに池田理代子プロダクションに転載のお願いをしたところ、ご快諾をいただくことができました。「ベルばら」執筆時代の出来事から、これからの男女共同参画社会実現に向けた先生の思いが込められていますので、ぜひとも繰り返し読んでいただけると幸いです。



全国女性団体連絡協議会  
会長  
櫻井 よう子



「ベルサイユのばら」  
執筆の時代

**林局長**：今年(2022年)は、「ベルサイユのばら」連載開始50周年になります。私は、少女の頃から「ベルサイユのばら」(以下「ベルばら」という)も「オルフェウスの窓」も大好きでした。今、男女共同参画局の若い職員に聞いても「ベルばら」は皆知っています、読み継がれていく作品だと改めて思います。また、「オルフェウスの窓」も、その後私は仕事でヨーロッパに住むことがあったのですが、ドイツの雰囲気や空気が見事に絵の中に現れていて、すばらしい作品だと思っております。

**池田氏**：ありがとうございます。

**林局長**：本日は男女共同参画社会の実現に向けて、御自身の作品や御経験を交えてお話を伺えればと思っております。早速ですが、まずは「ベルばら」のお話を伺いたいと思います。「ベルばら」という作品は当時の少女たちに、女性はこんな生き方もできるのだと強烈な印象を与えたと思います。オスカルが信念を持って生きている姿も素晴らしいと思いますし、軍隊という男社会の中で女性のリーダーとして部下を率いていく姿は、ドラクロワの「民衆を導く自由の女神」のイメージに重なります。あのオスカルの姿は鮮烈でした。

考えてみると、「ベルばら」を書かれた時代は1970年代で今から50年前です。まだ女性が社会に出て働くことが難しかった時代に、男社会で働く女性を主人公に据えようと思ったきっかけがあるのでしょうか。

**池田氏**：もともとはマリリー・アントワネットの生涯を描きたいという思いで高校生の頃から温めていたのですが、オスカルを通じて当時自分が言いたかったことが表現できたかなと思っております。

**林局長**：それは女性が対等な立場で仕事をし、経済的に自立するという意識でしょうか。

**池田氏**：今の人々には想像がつかないと思いますが、当時、漫画というものが非常に蔑まれていて、むしろ害毒だと思われていたのです。多くの大人が子供たちに漫画を読むことを禁じていたという時代で、もちろん読んで、とても褒めてくださる方がいた一方で、子供たちに害毒を流しているという叩かれ方をしたのです。私はかなり矢面に立たされて、漫画は文化として扱ってもらえないのだという思いをとても強くしました。編集の人たちと一緒に、いつか漫画が読み継がれていくものにしたという思いを持って描いていました。

また、当時同じ雑誌に描いていて、同じくらい人気があっても、女性は男性の半分の原稿料しかもらえなかったのです。おかしくないですかと言ったら、「お金に汚い女だ」と言われました。それに「女性はやがて結婚して男性に食べさせ

てもらうのだから、男が倍もらうのは当然だ」と言われたのです。そういう時代でした。

**林局長**：それはひどいですね。

**池田氏**：「ベルばら」がすくもてはやされて社会的なブームになったことで、見も知らない男性から電話がかかってきて、「女のくせに生意気だ」と言われました。私、家を建てたのですが「女のくせに家を建てやがって」とも言われました。あなたからお金をもらっているわけはないと喧嘩しましたけど。今思うと夢のようですね。

**林局長**：本当にひどいですね。ショックを受けます。

**池田氏**：50年前というのはそういう時代で、家を建てるのに、住宅ローンももうと思っても、女だということ取引銀行から断られました。

**林局長**：いわゆる男社会そのものですね。そんなことがあったとも知らず、少女の私はオスカルに愛がこめられたものでした。

**池田氏**：ありがとうございます。私は小学生の女の子向けに描いたつもりだったのですが、仕事を持っている女性たちからの支持もとても多くてびっくりしました。

**林局長**：当時の社会状況を考えたら、オスカルのように生きたいと思う女性が多かったのでしょうか。

**池田氏**：そうですね。それと、働いている女性はアンドレのような理解があつて、頼れる男性を求めているという

ことも思い知りましたね。

**林局長**：今回のインタビューに当たって、私も男女共同参画局の女性職員に「ベルばら」に魅力的な男性が数多く出てくるけれど誰が好きかと聞いて手を上げてもらおうと、アンドレが圧倒的人気でした。

**池田氏**：当時、頑張つて働いていた女性たちは「アンドレがほしい」とみんな思っていたみたいですね。私自身はそういうことを考える暇もなく忙しくしていましたが、オスカルのような女性の隣にはアンドレのような男性が必要なのだろうなと思いました。

「オルフェウスの窓」は  
ライフワーク

**林局長**：次に「オルフェウスの窓」について伺います。先日、東京大学の生協の書店にまいりましたら、「東大生が勧める中高生に読んでもらいたい本」のコーナーに「オルフェウスの窓」が並んでいて、漫画はこれだけでした。連載完結から40年経ちますが、こちらも読み継がれている作品ですね。

**池田氏**：うれしいですね。私にとっては「ベルばら」は代表作ですが、「オルフェウスの窓」は言わばライフワークだと思っています。「ベルばら」は小学生向けという制限もありましたから、描きたいことが全て描けたわけではありませぬし、2年に満たない短い連載でした。「オルフェウスの窓」は好きなだけ描かせていただいたということで、私にとつてのライフワークだと思っております。

**林局長**：読み返してみると、時代設定が今と重なる部分があると感じました。昨今、世界を見渡すと、IT革命などの技術革新とグローバル化で経済が発展する一方で、国内の所得格差が拡大し、その結果、政治が大

きく変動している国もあります。「オルフェウスの窓」の舞台となった19世紀末から第一次大戦に至る時代の欧州も、第二次産業革命により経済は発展する一方、国内の所得格差が拡大し、政治は激動しました。現代と似ているところもあり、作品を読むと色々なことを考えさせられます。あの時代に着目された理由は何かあるのでしょうか。

**池田氏**：たまたまロシア革命を描きたいという思いがあったのと、子供のころ音楽大学に行きたくて勉強していたのですが、途中であきらめてしまったので、音楽の世界に生きていく青春というのを描いてみたかったというのがあります。「ベルばら」を描いていたころはそんなにお金もなかったもので、事前に調査もできず、飛行機にも乗ったことがなかったのですが、フランスにも行ったことがなくて、「ベルばら」のおかげでヨーロッパに行くことができるようになって、実際に舞台になったところを見ることができましたので、私にとつても記念になる作品だと思っております。

**林局長**：以前、ドイツのレーゲンスブルクに偶然電車から降りて、大変気に入られて舞台にされたという先生のお話を拝見したことがあります。私もレーゲンスブルクに行つて、中世から続く古い街並みと大聖堂に「なるほど、こういうところなのか」と感激した覚えがあります。

**池田氏**：私が行った頃は、日本人を見たことがないという人ばかりで、珍しがられました。その後、レーゲンスブルクの市の観光局長から手紙をいただいて、「レーゲンスブルクという街は観光ルートとして宣伝しているわけではないのに、最近日本から若い女性が多く来て、皆同じ本を持っている。何事かと思つて聞いてみたら、あなたの本を皆持っている」ということでした。レーゲンスブルク大学の図書館には「オルフェウスの窓」が全巻



©池田理代子プロダクション

総合整備

LPガス 人と地球にスマイルを

正しく使おう、Life Power LPガス。

災害にも強いLPガス <http://www.lpg.or.jp/> LPガス安全委員会



©池田理代子プロダクション

入っています。私にとつてはある意味初めて触れた本物のヨーロッパだったので、とてもうれしかったです。

**林局長**：「オルフェウスの窓」は、ユリウス、クラウス、イザークという主人公たちだけでなく、個性が際立つ脇役が数多く登場することも魅力だと思います。また、マリア・バルバラやカタリーナなど、既存の枠にとらわれず自立していく女性の姿が描かれているのも印象的でした。当時は、イギリスなどで女性参政権運動があった時代ですが、女性が自立することにあこがれがあっても実際には難しい時代に、事業家になったマリア・バルバラや看護婦長になったカタリーナの姿がいまきいと描かれていました。

**池田氏**：自分の信念に従って生きた女性たちが描けたかなと思います。女として独立して生きていくというのは、現実にはある意味すごく大変な時代だったと思います。

### 時代を先取りした「クローディーヌ……！」

**林局長**：私は、「クローディーヌ……！」という作品も好きです。今で言うフランスジェンダーを取り上げておられて、その御慧眼に感服いたします。

**池田氏**：「クローディーヌ……！」を好きと言ってくださるのはおどろきでした。「クローディーヌ……！」の他にも子供のいじめの問題を題材にした短編もあるのですが、かなり昔に描いていて、いずれも早すぎたのかなと思います。でも、自分の短編の中でも「クローディーヌ……！」

又……！」は一番好きな作品です。

**林局長**：とても切ないお話ですよ。あの当時にLGBTQに着目されたというの

は何かきっかけがあるのでしょうか。  
**池田氏**：フランスのボスという心理学者の本にクローディーヌの症例が載っていて、「単にクローディーヌをトランスジェンダーとしてだけとらえることはできない。要するに違った性を持つて生まれてきたのだ」というのが書いてありまして、それがヒントです。

**林局長**：そうだったんですね。今、日本ではLGBTQの理解増進法案ですら通らないという状況です。

**池田氏**：選択的夫婦別姓もそうですね。いつまでも解決しない、日本だけが取り残されていくというのは非常に残念な思いです。

### 男女共同参画の実現に向けて

**林局長**：現在、日本のジェンダーギャップ指数は120位で、先進国最下位です。先生が「ベルばら」を描かれた頃よりは、女性を取り巻く状況は良くなったかもしれませんが、他の国に比べれば大変遅れています。この状況でどんなことをすべきか、何が大切だと思いますか。

**池田氏**：私はやはり一つはクォータ制だと思います。特に選挙の候補者については絶対に必要なことだと思います。それと同時に女性の方もちゃんと勉強すべきです。男性と対等に論戦を張れるような女性が出てきてほしいと思います。

**林局長**：今、日本の有権者の52%が女性で、女性の方が多数派であるにも関わらず、女性の議員がこんなに少ないのは非常に残念です。

**池田氏**：テレビを見ていて、経済問題でも社会問題でも論客と呼ばれる女性が多くいらつしやるので、こういう方々に立候補してもらいたいですね。

**林局長**：今年の10月、政府が主催または後援するシンポジウムなどの行事で、登壇者は男性ばかりというものは認めないというルールを全ての省庁で決めることにこぎつけました。こうした努力を一つ一つ積み重ねて、優秀な女性が活躍してもらええる環境をつくっていききたいと思っています。

**池田氏**：江戸時代もそうですが、農業をやっている人たち、漁業をやっている人たちは、男女共同参画だと私は思うのです。専業主婦はいないですよ。日本では、男女が一緒に働いて支え合うという歴史は古いと思います。ところが、農村にしろ、漁村にしろ、女性たちが自分たちは働いている女だという自覚があまりなかったのかなと思います。すぐ立派な男女共同参画だと思おうのですが。

**林局長**：高度経済成長期に専業主婦でいられる時代になったということ、男性は外で働く、女性は家事という役割分担意識が定着してしまっただけの気がいたします。

**池田氏**：すごく贅沢なことですよ。今、オペラの台本を書いています。その中にフィンランドで上演されたものがあつて、専業主婦が出てくる場面があつたのですが、それを書き直してもらえないかとフィンランドの方に言われたのです。専業主婦が何なのかフィンランドの人には理解できないからだそうです。女性も当然働いているものであつて、働かないで家にいるのがわからないそうです。仕事を持っている女性に書き換えてくれと言われ、びっくりしました。

**林局長**：フィンランドには専業主婦はいないからということなのですか。

**池田氏**：そうみたいですね。専業主婦というのは日本に独特の存在になりつつあるのかなと思いました。

**林局長**：日本も、最近は家族が多様化していますので、昭和の時代にできた専業主婦モデルやその意識は現実に合わせてなくなってきたかと思っています。コロナ下のひとり親の経済的困窮の問題に表れたように、そもそも年間に婚姻が60万件ある一方で離婚も20万件あり、家族も女性の生き方も多様化しているのにもかかわらず、制度やさまざまな仕組みが古く、令和の時代に追いついていないですね。

**池田氏**：結婚して夫婦同姓になる時はほとんど男性の姓を名乗りますよね。私は離婚経験がありますので、すごく大変な思いをしました。色々なところに

**池田氏**：結婚して夫婦同姓になる時はほとんど男性の姓を名乗りますよね。私は離婚経験がありますので、すごく大変な思いをしました。色々なところに

姓が元に戻りましたという手続をしなければいけないのです。しかも、生まれた時に姓に合わせて名前を付けてくれていると思うので、それが変わるのとはどうなのかなと思いますね。親が一生懸命考えてくれた名前ですから、自分の名前を大事にして生きていきたいですね。今結婚適齢期もかなり遅くなってきましたから、独身で働く女性も増えてきています。自分の名前というものは自分のアイデンティティとして世間に通っているものから、それを変えたいというのは本当に大変なことだと思います。

**林局長**：本当にそうだと思います。本日は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。

**池田氏**：結婚して夫婦同姓になる時はほとんど男性の姓を名乗りますよね。私は離婚経験がありますので、すごく大変な思いをしました。色々なところに

## Profile



池田理代子氏  
大阪府出身

- 1967年 『バラ屋敷の少女』で漫画家デビュー
- 1972年 『ベルサイユのばら』連載開始
- 1975年 『オルフェウスの窓』連載開始
- 1980年 『オルフェウスの窓』で第9回日本漫画家協会賞優秀賞受賞
- 1995年 東京音楽大学声楽科に入学し、1999年に同大学卒業
- 2009年 フランス政府からレジオン・ドヌール勲章シュバリエ章が授与
- 2020年 第一歌集『寂しき骨』出版

### 本インタビューで言及されている作品について

#### ベルサイユのばら

男装の麗人オスカルを主人公に、マリー・アントワネットやフェルゼンといった実在の人物との関わりを通じて、激動のフランス革命を描いた作品。

#### オルフェウスの窓

レーゲンスブルクの男子の音楽学校で出会った、ユリウス(実は女性)と運命的な出会いをしたイザーク、クラウス3人の物語。第一次世界大戦やロシア革命といった史実を織り混ぜ、舞台もドイツ、オーストリア、ロシアと変遷していく壮大な作品。

#### クローディーヌ……!

女性として生まれながら男性の心を持ったクローディーヌの愛と苦悩の物語。愛する女性と決して結ばれない切ない心の内を精神科医の目線から描いた作品。

## 明治座

〒103-0007 東京都中央区日本橋 浜町2-31-1  
受付時間 平日9:00~17:00  
【フリーダイヤル】 0120-64-3800

「五木ひろし劇場」ゲスト(日替わり) 市川由紀乃、朝花美穂、辰巳ゆうと、新浜レオン、バイビーブー  
2022年5月13日(金)~5月22日(日)  
開演時間 昼の部12時/夜の部17時(予定)  
定価料金(税込)5席(1階席・2階席)10,000円  
会員様 特別価格(税込)5席9,000円



「芸能生活50周年吉幾三特別公演」  
2022年7月8日(金)~7月24日(日)  
開演時間 昼の部12時/夜の部16時30分(予定)  
定価料金(税込)5席(1階席・2階席)12,000円  
会員様 特別価格(税込)5席10,800円

舞台「ゲゲゲの鬼太郎」  
2022年7月29日(金)~8月15日(月)  
開演時間/未定  
定価料金(税込)5席(1階席・2階席)12,000円  
会員様 特別価格(税込)5席10,800円

ついに明治座初登場!!  
吉幾三 芸能生活50周年 特別公演  
2022年7月8日(金)~24日(日)  
03-3460-3941



# 第三回 全国の若手メンバー紹介。次世代を担う大切な仲間たちです!

**岩手県**

**組織マラソン  
みんなでつなぐ  
笑顔のタスキ**



県婦協事務局  
徳田 佳子



滝沢市  
大越 幸子



滝沢市  
佐々木 美和子



滝沢市  
吉田 いづみ



県婦協事務局  
梶田 佐知子

**愛知県**

**新しい時代の  
地域づくり**



蟹江町  
鬼塚 五月



清須市  
鈴木 陽子



大府市  
おおぶフェアトレードタウン推進委員会



蟹江町  
早瀬 和美

**鹿児島県**

**次世代へ  
強く美しく  
はばたく!**



鹿児島市  
内村 由美子



指宿市  
岩本 祐子



鹿児島市  
田寛 澄恵



熊毛郡屋久島町  
岩川 亜希子




大島郡瀬戸内町  
山畑 るみ



熊毛郡屋久島町  
山崎 昌代


**福井県**

**今後期待する  
マスク美人!**

大津市  
正 太平 道代

ぜんちふれん3月号に掲載しました滋賀県の若手お二人様の氏名が間違っていましたので、訂正してお詫びします。



大津市  
正 本郷 里香

**掲載された若手の皆様へ**

同世代のお友達、職場の同僚、ご親戚に「ぜんちふれん3月号」をお配りください。たくさんの若手仲間を増やすためにお近くの方にお声がけください。今後は皆様を中心とした研修会や講演会を企画して参ります。講師に呼びたい方の要望なども受け付けますので、下記メールにご要望をお寄せください。

[zenkoku@chifuren.gr.jp](mailto:zenkoku@chifuren.gr.jp)

## 日本における漫画のお話

一言で「漫画」と言ってもその定義は定かではありません。漫画と呼ばれるもののジャンルや媒体が広すぎて、また、人によっても解釈が異なるからです。漫画研究者によると「観る人を楽ませる。もしくは何らかのメッセージを伝えるために描かれた絵は、全て漫画」と言えるそうで、本当に幅広い裾野を有しています。

日本で最古の漫画と言われているのが平安時代に作られた「鳥獣戯画」で、兎や蛙などの動物を擬人化して当時の人々の暮らしや社会を反映した絵が描かれています。江戸時代には印刷技術の発展に伴い大衆文化として広がり、葛飾北斎の「北斎漫画」などの影響で「漫画」という言葉も定着してきます。幕末に海外から多くの外国人や文化が日本にもたらされると、漫画文化は更なる発展を遂げ、イギリス人のチャールズ・ワグマンによって日本初の漫画雑誌「ジャパン・パンチ」が創刊されました。

1900年代になると風刺漫画の流行や、漫画雑誌が次々と刊行されたことで多くの漫画家が誕生しました。しかし、1914年に始まった第一次



世界大戦から1945年に終わる第二次世界大戦までは、表現の自由を奪われ、漫画界にとっては不遇の時代が続きました。

終戦とともに動き出した漫画の歴史は、終戦翌年に「サザエさん」の連載がスタートするなど、日本復興に向けて活発な動きを見せます。そして一人の偉大な漫画家の登場によって漫画の歴史は大きく成長、発展を遂げました。「マンガの神様」として知られる手塚治虫は、ディズニーアニメや映画の要素を取り入れながらマンガを進化させ、現代マンガの基礎をつくり、本格的な海外進出を果たす。など、マンガ界に革命をおこしました。

映画好きでもあった手塚治虫は、ドラマチックな展開、大胆なカット(コマ割り)など、映画の要素を実験的に取り入れながら、魅力的なストーリー漫画の基礎を確立しました。それまでは、ミッキーやサザエさんのように不老不死で成長することのなかったキャラクターが、死んだり、成長したり、キャラクターの内面(心)が描かれる。など漫画は、読者、観る人がより共感、感動する漫画へ進化します。その進化したストーリー漫画をアニメ化して、本格的な世界進出を果たしたのも『鉄腕アトム』です。漫画の基礎をつくり、世界を広げた手塚治虫の考え、描き方は、同世代や後世の漫画家、作品に受け継がれており、今や「MANGA」は世界共通言語になりつつあります。

漫画ファンのための漫画情報ライブラリー「マンガフル」より抜粋。  
<https://mangafull.jp>

